

熊本県感染症情報 (8月30日～9月5日)

KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

◆◆◆ 感染症胃腸炎、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、手足口病の報告が多い ◆◆◆

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	1	百日咳	2	1
RSウイルス感染症	1	1	ヘルパンギーナ	38	47
咽頭結膜熱	26	28	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	71	67
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	17	14	急性出血性結膜炎	0	1
感染症胃腸炎	201	178	流行性角結膜炎 (はやり目)	12	17
水痘	36	46	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	59	47	無菌性髄膜炎	1	0
伝染性紅斑 (りんご病)	28	38	マイコプラズマ肺炎	1	0
突発性発しん	48	51	クラミジア肺炎	0	1

- 感染症胃腸炎は、報告数 201 件(前週報告数 178 件)と増加。
地区別では、山鹿、人吉、八代に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の 32 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、報告数 71 件(前週報告数 67 件)と増加。
地区別では、八代、山鹿、人吉に多く報告がみられる。
年齢別では、3歳の 18 件を最多に、主に 10～14 歳以下からの報告であるが、20 歳以上も 3 件報告があった。
- 手足口病は、報告数 59 件(前週報告数 47 件)と増加した。
地区別では、熊本、天草、八代に報告が多くみられる。
年齢別では、1歳の 21 件を最多に、6 歳以下からの報告である。

腸管出血性 大腸菌感染症 (O157など)

腸管出血性大腸菌は、強い感染力をもっており、食べ物についた少量の菌で感染します。また、タオルの共用などでも感染することがあります。免疫力や体力の面から、乳幼児や高齢者はこの感染症にかかりやすく、重症化しやすいので、特に注意が必要です。腸管出血性大腸菌感染症は、O157を代表として、O26、O111、O103など多くの種類があります。症状には、個人差がありますが、下痢、腹痛、血便、発熱などがみられます。特に血便がみられた場合は、医療機関を受診して下さい。

例年、夏場に多く見られますが、秋にも発生がありますので今後も注意が必要です。腸管出血性大腸菌は、75℃で1分間加熱することで死滅します。生の食材と加熱後の食品は、必ず別の調理器具で扱うなどの注意をしましょう。

◆◆◆ 年齢別発生状況 (インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点) ◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
インフルエンザ	0																				
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上						
RSウイルス感染症	1			1																	
咽頭結膜熱	26			2	10	4	6	2	1	1											
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	17			1	1	3	3		1			1	5		2						
感染症胃腸炎	201	3	18	32	31	12	10	16	9	7	7	10	22	8	16						
水痘	36		4	8	12	5	4		3												
手足口病	59		4	21	16	8	4	1	5												
伝染性紅斑	28				2	6	5	8	1	2			2	1	1						
突発性発しん	48	1	32	12	3																
百日咳	2							1													1
ヘルパンギーナ	38		3	7	11	4	1	8	2	1			1								
流行性耳下腺炎	71			5	7	18	8	10	3	5	3	5	4		3						
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	12												1	1		2	6			2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	2	1																			1
マイコプラズマ肺炎	1			1																	
クラミジア肺炎	0																				